

加工現場のDXを促進するソフトウェア 「MAZATROL DX」を2023年4月より販売開始

ヤマザキマザック株式会社（社長：山崎高嗣、愛知県大口町、TEL：0587-95-1131）は、加工の見積もりから工具取付けなどの段取り作業をデジタル技術で変革するソフトウェア「MAZATROL DX（マザトロールDX）」を4月18日より販売開始します。

昨今、グローバルで労働力人口が減少し、特に製造業は熟練技能者の引退による人手不足や、技能継承などの課題に直面しています。このような状況から、IoT、AI（人工知能）などのデジタル技術やロボットを活用した省人化、自動化ニーズが高まっています。

当社はこれまで生産支援ソフトウェア「Smooth CAM Ai」の提供を通して、加工プログラミングとシミュレーションをオフィスPC上で完結する「デジタル段取り」を推進、現場での段取り時間を削減し、工場の生産性向上に貢献してきました。

今回、新たに開発した「MAZATROL DX」は「Smooth CAM Ai」の後継ソフトウェアとなります。従来から提供しているデジタル段取りの各種機能に加えて、3Dモデルを活用し、加工時間や加工費を算出する自動見積もり機能「クイック見積もり」や、不足している工具の取付け指示や工具計測などの段取り支援機能「セットアップガイド」を新たに追加しています。これらの機能を活用することで、加工前の段取り作業を効率化し、製造リードタイムの大幅な短縮に貢献します。

「MAZATROL DX」は、当社が提供するMazak iCONNECT™を通じて、4月18日より提供を開始します。

MAZATROL **DX**

